

みずほCustomer Desk Report 2017/11/24号(As of 2017/11/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.38 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.33	1.1743	131.90	0.9908	1.3243	0.7586
SYD-NY High	112.50	1.1751	132.12	0.9916	1.3260	0.7595
SYD-NY Low	112.12	1.1732	131.71	0.9901	1.3230	0.7562
NY 5:00 PM	0.00	0.0000	0.00	0.0000	0.0000	0.0000
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.02/8.38		25RR	0.875 Yen Call Over		

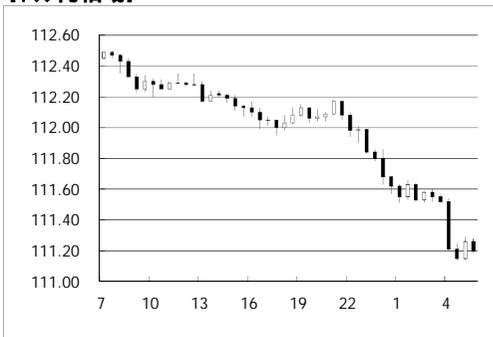
		債券市場			
NY DOW	23,526.18	▲ 64.65	日本2年債	-0.1840	0.0bp
NASDAQ	6,867.36	4.88	日本10年債	0.0250	▲0.0bp
S&P	2,597.08	▲ 1.95	米国2年債	1.7267	▲4.5bp
日経平均	22,523.15	106.67	米国5年債	2.0417	▲5.7bp
TOPIX	1,777.08	5.95	米国10年債	2.3187	▲3.7bp
シカゴ 日経先物	22,410.00	▲ 260.00	独10年債	0.3490	▲0.2bp
ロンドンFT	7,419.02	7.68	英10年債	1.2750	0.0bp
DAX	13,015.04	▲152.50	豪10年債	2.5240	▲0.0bp
ハンセン指数	30,003.49	185.42	為替市況	USD/CNH	6.5967 ▲ 0.0304
上海総合	3,430.46	19.97		ドルインデックス	93.22 ▲ 0.73
USDJPY 3M Vo	8.25	0.07%	商品市況	CRB指数	191.604 1.78
USDJPY 6M Vo	8.85	0.08%		NY金	1,296.80 10.60
EURJPY 3M Vo	7.75	0.06%		WTI	58.02 1.19
EURJPY 6M Vo	8.72	0.07%		Dubai Spot	60.79 0.32

**東京**  
 オセアニア時間に高値112.50をつけたものの上値を迫るには材料不足でドル円は112円台前半から半ばでレンジ推移。朝方、インフレ議長が講演でインフレは目標にそれなりに近いとの見解を示しつつも、早過ぎる引き締めはインフレ率を2%未満にとどめかねないと指摘。他方で利上げが遅くなり過ぎて労働市場の過熱を招くリスクにも言及したものの、市場では同議長の発言をややハト派的だと捉える向きもあり、ドル円は112.33レベルまで小緩んで東京時間オープン。翌日に本邦や米国の休日を控えて動意に欠く展開。高寄りした日経平均株価が上げ幅を縮小させ、前日に2.37%台まで上昇していた米10年債利回りが2.35%台まで下落する中、ドル円の上値は重く112.10-30を中心としたレンジ推移となる。引けにかけては東京時間安値112.12をつけた後、112.14レベルで海外に渡った。(東京15:30)

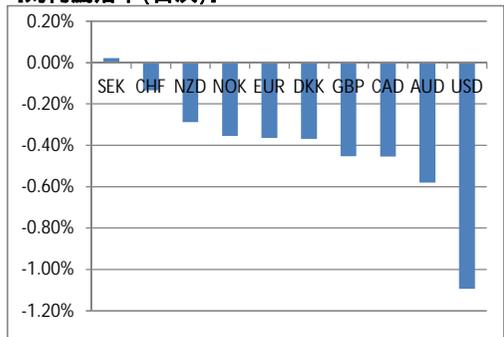
**ロンドン**  
 ロンドン市場のドル円は、112.14レベルでオープン。米金利が上昇したが、為替市場では休日前に伴うポジション調整が上値を抑え、112.00付近で小動き。112.07レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3260レベルでオープン。英予算案の発表を前にポジション調整から1.3235まで下落。注目されたハモンド英財務相の予算演説では、英2018年成長率の見通しが下方修正され、英財政赤字が拡大する見通しが示されたこと等が嫌気され、1.3213まで一段安となった。結局、ポンドドルは1.3222レベルでNYに渡った。(ロンドン-トルフィ- 00531 444 179 山本)

**ニューヨーク**  
 海外市場のドル円は材料難の中112円台前半で方向感なく推移し、112.07レベルでNYオープン。朝方発表された米10月耐久財受注が、7月は4ヶ月連続の拡大となったものの、変動の大きい航空機受注の減少を背景にヘッドラインが予想比下振れし、3ヶ月ぶりのマイナスとなったことから、米金利低下と共にドル売りが進行。ドル円は海外時間サポートされていた112円近辺を割り込んで一目均衡表の雲に突入すると、短期筋のストップを巻き込みながら下落が加速。200日移動平均の水準も割り込み、直近安値(10月16日:111.65)を下抜けると111.51まで下落。一旦は下げ止まったものの、東部時間午後2時に公表された10月FOMC議事録で、中期的なインフレ低迷のリスクを指摘した参加者も少なくなくなったことが明らかになり、祝日を控えて一段と流動性が低下するなか、米金利の更なる低下と共にドル円は9月20日以来となる安値111.14まで急落。結局、111.22レベルでクロスした。一方、1.1743レベルでオープンしたユーロドルは、ドル売り地合のなか1.1798まで上昇。一旦は上げが一服したが、FOMC議事録を受けて更にドル売りが強まると高値1.1827まで上昇。結局、ユーロドルは1.1823レベルでクロスした。

【ドル円相場】



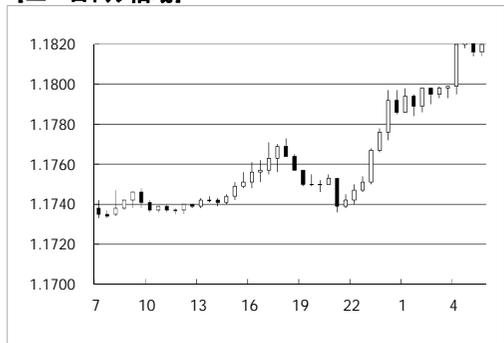
【対円騰落率(日次)】



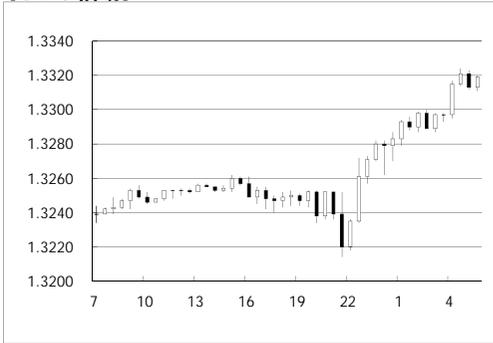
【ユーロ円相場】



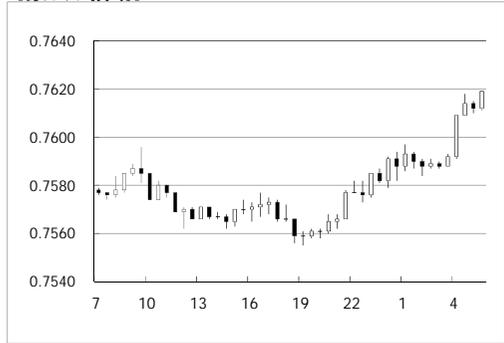
【ユーロドル相場】



【ポンド相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。